

県内一の

おろほ

の

港

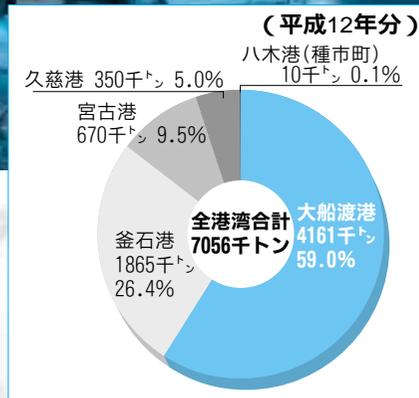
将来都市像

「活力で輝く未来 国際港湾都市 大船渡」

実現に向け、ただ今

進行中！

岩手県内の港湾取扱貨物量



大船渡港の貨物の取扱状況

県内の港湾取扱貨物量(右上のグラフ)を見ると、一目瞭然で大船渡港は県内で最大の貨物量を取り扱っていることが分かります。

平成12年の大船渡港の取り扱い貨物を種類別に見ると、輸入(外国から)が石油製品、石炭、原木など645千トン、移出(国内へ)がセメント、砂利、砂、石材、重油など2,673千トン、移入(国内から)は非金属鉱物など843千トンで、合計4,161千トンとなっています。

県内最大の「港湾」

県内最高の漁獲高を誇る水産業。典型的なリアス式海岸の美しさを誇る碇石海岸や海水浴場など海を生かした観光。そして、県内最大の物流拠点としての「港湾」。わたしたちのまちが発展していくためのキーワードは「海」です。

その中でも、港湾を最大限に活用したまちづくりが重要です。大船渡港は、県内の港湾取り扱い貨物量の約六割を占める県内最大の港湾となっています。

現在進められている、赤崎町の永浜・山口地区の大船渡港湾整備事業が完了すれば、多目的国際ターミナルを有する東北有数のすばらしい港湾となります。先月七日には、昭和四十二年六月に開港して以来、累計で四千隻目となる外国貿易船が大船渡港に入港し、国際港湾都市の実現に向けた港湾整備にも一段と弾みがつきました。

県内最大の「港湾」